

病型分類	処方例	ポイント
▶性器クラミジア感染症		
i) 尿道炎	①ジスロマック錠 250 mg 1.0 g × 1 回, 単回投与 ②ジスロマック SR 2.0 g × 1 回, 単回投与 ③クラリス またはクラリシッド 200 mg × 2 回/日, 7 日間 ④ミノマイシン 100 mg × 2 回/日, 7 日間 ⑤ビブラマイシン 100 mg × 2 回/日, 7 日間 ⑥クラビット 500 mg × 1 回/日, 7 日間 ⑦オゼックス またはトスキサシン 150 mg × 2 回/日, 7 日間	①②推奨レベル A。  ③推奨レベル B。  ④推奨レベル B。妊婦には投与しない。 ⑤推奨レベル A。妊婦には投与しない。 ⑥推奨レベル B。妊婦には投与しない。 ⑦推奨レベル B。妊婦には投与しない。
ii) 子宮頸管炎	①ジスロマック錠 250 mg 1.0 g × 1 回, 単回投与 ②ジスロマック SR 2.0 g × 1 回, 単回投与 ③クラリス またはクラリシッド 200 mg × 2 回/日, 7 日間 ④ミノマイシン 【適応外処方】 100 mg × 2 回/日, 7 日間 ⑤ビブラマイシン 【適応外処方】 100 mg × 2 回/日, 7 日間 ⑥クラビット 500 mg × 1 回/日, 7 日間 ⑦オゼックス またはトスキサシン 150 mg × 2 回/日, 7 日間 ⑧グレースビット 100 mg × 2 回/日, 7 日間	①妊婦：推奨レベル A, 非妊婦：推奨レベル A。 ②妊婦：推奨レベル B, 非妊婦：推奨レベル B。 ③妊婦：推奨レベル B, 非妊婦：推奨レベル A。  ④非妊婦：推奨レベル D。妊婦には投与しない。  ⑤非妊婦：推奨レベル D。妊婦には投与しない。  ⑥非妊婦：推奨レベル B。妊婦には投与しない。 ⑦非妊婦：推奨レベル D。妊婦には投与しない。  ⑧非妊婦：推奨レベル B。妊婦には投与しない。
iii) 劇症症例(肝周囲炎など)	①ミノマイシン点滴静注用 100 mg × 2 回/日, 3～5 日間点滴静注	①投与終了後は経口薬に変更可。

病型分類	処方例	ポイント
▶性器ヘルペス i) 初発ヘルペス	①ゾビラックス 200 mg × 5 回/日, 5～10 日間 ②バルトレックス 500 mg × 2 回/日, 5～10 日間	①②重症例では投与期間を 10 日まで延長する。
ii) ヘルペス脳炎, ヘルペス髄膜炎	①ゾビラックス点滴静注用 5～10 mg/kg × 3 回/日, 7 日間点滴静注	
iii) 再発例	①ゾビラックス 200 mg × 5 回/日, 5 日間 ②バルトレックス 500 mg × 2 回/日, 5 日間	
iv) 再発, 軽症例	①アラセナ-A 軟膏 数回/日, 5～10 日間塗布 ②ゾビラックス軟膏 数回/日, 5～10 日間塗布	
v) 免疫不全を伴う重症例	①ゾビラックス点滴静注用 5 mg/kg × 3 回/日, 7～14 日間点滴静注	
vi) 再発抑制療法	①ゾビラックス 400 mg × 2 回/日, 1 年間継続投与 ②バルトレックス 500 mg × 1 回/日, 1 年間継続投与	①②1 年間継続投与後, 中断し, 再投与するかどうかを検討する。
▶尖圭コンジローマ	①ベセルナクリーム 1 回/日, 隔日週 3 回 就寝前に塗布し, 起床時に洗浄, 16 週まで継続可能 ②凍結療法 ③80～90%三塩化酢酸または二塩化酢酸などの外用 【適応外処方】 ④外科的切除法 ⑤レーザー蒸散 ⑥インターフェロン局注 【適応外処方】	①第一選択。クリームを塗布後, 6～10 時間後に洗い流す。 ②第一選択。 ③第一選択。過剰に塗布した場合には, 直ちに洗浄する。 ④第一選択。 ⑤⑥第二選択。

厚生労働科学研究費補助金  
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業  
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)  
性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究  
(H24－新興－一般－004)  
平成24～26年度 総合研究報告書

---

2015年3月31日発行

研究代表者 荒川創一

連絡先 神戸大学医学部附属病院 感染制御部  
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2  
TEL. 078-382-5531(直通) FAX. 078-382-6611

